

パンタナール通信

南北米福地開発協会

会報

2014年3月1日

126号

世界平和地球村の建設と自然環境の保護



親魚を調べるため、養殖池に入る中田所長（白服）とマグノ教授（その左）

試練を超えて養殖挑戦！

パクーの養殖を始めて以来、様々な試練を乗り越えて来た。いくら池で稚魚を育てる事ができても、その都度アスンシオンから稚魚を購入していたのでは、採算が取れない。稚魚一匹が1~2ドルもすると、育てて販売しても飼料代や人権費で、赤字となる。いくら環境保護のためでも、それでは経済的に難しい。従つて自然放流をする為にも、私たちにとっては、親魚から成熟卵を得て孵化することによる稚魚獲得は、養殖の大前提である。

最初アスンシオンから購入してきた稚魚（2cm前後）五千匹は、三年経つて立派に成長した。販売しても美味しいと好評であり、育てることには成功した。しかし人工孵化は、アスンシオン大学マグノ教授の指導を受けても、七回失敗。教授が帰った後、何としても成功させたいという執念で、ついに八回目に成功した。更に十二回目には大成功だつた。再び二〇一三年十一月マグノ教授を迎えて孵化を試み、見事に成功。得た仔魚（1~数ミリ）は、十二万匹を超えていたと思われた。孵化した仔魚から稚魚まで育てるのが、また一苦労である。特に孵化して数日は、水温やPH濃度、そして餌に充分気を配らなければならない。

それだけでなく、川の水は徹底して濾過して養殖池に入れなくてはならない。他の魚の卵や仔魚が入り込んで来るところ、パクーの仔魚が食べられてしまう。今回も、カシヨーロという歯の鋭いカマスのような姿の魚が、パクーの養殖池にかなり繁殖しているようだとの報告を受けている。仔魚は十二万匹はいると予想されていたが、どの位生き延びているのかは、調べてみないと分からない。

二〇一一年末から、二〇一二年一月に孵化した五千匹は、二千、二千、千と、三つの池に分けて育てているが、二千匹は多すぎるので、成長を促進するために、千匹ずつに分けられるよう、現在25m×100mの池が一つ新たに作られ、更に50m×100mの大きな池を造成中である。

今、レダ基地では...

連日酷暑のレダ基地。黙々と地道な作業が続いています。



固い土を切る青いトラクターと、土を削り取る赤いトラクター

果樹園と植樹園のモダル化を目指して

レダ基地に戻った伊達氏は、さっそく植樹用のミニポット苗作りを開始しました。中田所長から第一農場の育苗所を使う許可を得て、アルガロボの種230粒の他、アセロラ、ニームなどミニポットに播種したところです。今回のポット苗作りは、各種条件下での成長特性を調査するためのものです。

果樹園の点検も終えました。過酷な条件の下で、成長が鈍化したり、中には枯死する果樹も見られます。これから栽培地に最も適応力のある個体を樹種ごとに選ぼうとしています。

樹木の立ち枯れ問題は、砂漠化防止事業においてよく知られるように、大変深刻なものです。長年レダで植樹園の管理をしてきた飯野会長によると、ここチヤコ地域では、塩土に当たつて枯れる樹木も多く、植栽の場所によって成長の差が大きいようです。

（左）
育苗所で、ポット苗を作る伊達氏
（右）
と新しい助手
新調したスクレーパー（土を削る機械）は快調です。一方、働き者の古参トラクターには、過度の無理をさせないよう、大変気を使いながらの工事です。

昨年、レダはパラグアイで三番目の稚魚放流を実施しました。チヤコ地方で、しかも民間では初めての放流です。魚は確実に減少しており、市場の需要も高まっています。加えて、レダ産のパクーは、色は綺麗で味は美味しいとの評判ですから、自信を持つて進めています。

（左）
育苗所で、ポット苗を作る伊達氏
（右）
と新しい助手
新調したスクレーパー（土を削る機械）は快調です。一方、働き者の古参トラクターには、過度の無理をさせないよう、大変気を使いながらの工事です。



育苗所で、ポット苗を作る伊達氏（左）と新しい助手（右）

新調したスクレーパー（土を削る機械）は快調です。一方、働き者の古参トラクターには、過度の無理をさせないよう、大変気を使いながらの工事です。

（左）
ダではそれ

を克服して、
植樹モデル
地域を実現
することを
期待してい
ます。）



豚ランドでは

（左）
豚たちはすこぶる元気に育つ
ています。飼育担当の坂井君
(上の写真)は「豚が意外と
ユーモアの感じる動物で、親
しみを覚える。ブランド豚を
つくりたい。」と抱負を語つ
てくれました。

（左）
豚たちはすこぶる元気に育つ
ています。飼育担当の坂井君
(上の写真)は「豚が意外と
ユーモアの感じる動物で、親
しみを覚える。ブランド豚を
つくりたい。」と抱負を語つ
てくれました。



コラールで牛に予防接種をする佐野氏（右）

（左）
口蹄疫の予防接種が
あります。これは通常、年
二回ぐらいあります。この時は
私たちにとっては審判のような時で、政府の検
査官の立会いの下、正式に品種ごとの頭数を数
えられ、政府のコンピューターに登録されます。
この数字は絶対で、何か不明瞭な点が発見され
るとアスンシオンから検査官が来ることになつ
ているからです。牛のカウントは、100%正
確にすることはほぼ不可能です。小さい子牛は
折り重なつたりして、カウント間違いなど多少
の誤差が出て当然です。でも今回、十二月の数
字と完全に整合したのにはびっくりしました。

厳格な口蹄疫の予防接種

パラグアイ共
和国は、家畜の
口蹄疫ゼロを維
持するため、
厳格な防疫体制
を敷いています。

（左）
口蹄疫の予防接種を
ます。この時は
二回ぐらいあり
ます。この時は
私たちにとっては審判の
ような時で、政府の検
査官の立会いの下、正
式に品種ごとの頭数を数
えられ、政府のコン
ピューターに登録され
ます。これは通常、年
二回ぐらいあります。
（右）
口蹄疫の予防接種を
ます。この時は
二回ぐらいあり
ます。この時は
私たちにとっては審判の
ような時で、政府の検
査官の立会いの下、正
式に品種ごとの頭数を数
えられ、政府のコン
ピューターに登録され
ます。これは通常、年
二回ぐらいあります。

二月十日、二名のシリアボランティアが
レダ基地へと元気よく出発しました。

九日、千葉では観測史上最大の降雪で交通機関が大幅に乱れました。初のシニアボランティア、水落勝氏と堀本努氏は、同行の中井重幸氏と共に丸一日を成田空港で過ごし、想定外の様々なハードルも越えて、翌十日に笑顔で出発して行きました。

★レダでは何を担当しますか？

（二人共、基本的には何でもやる覚悟です。）

水落 自分は大工仕事を三十年以上やつてきましたので、建物を作つたり、修理することができます。自分の大工道具一式を持つて行きます。

堀本 多分、豚の世話をすることになると思います。アメリカにいた時、日本レストランで働いており、多少は調理ができますので、包丁など自分の道具を持つて行きます。

溶接の仕事も経験があります。

★レダに行きたいと思つたのは?

水落　十年以上も前に、レダ
プロジェクトを知つて、行き
たいと思ひましたが、その時
はある事情で行けませんでし
た。今回色々な方から説明を
受け、いよいよ自分も海外で
力を發揮したいと思ひました
外に行つて仕事をするのを応
て、今は自分自身が行くことに



左より、堀本氏、中井氏、水落氏（2月10日成田空港にて、大滝氏撮影）

★浅ざれを家族の生活は大丈夫ですか?

水落 数ヶ月前、信号で止まっていた自分の車

かけても、何とか妻も娘も食いつないでいけそうです。

堀本　自分は福島原発の傍に住んでいて、大震災に遭いましたが、家族は皆守られました。それだけでなく、難民として千葉に出てきて、政府からの保証が数年出るお陰で、少しでも恩返しに奉仕活動に取り組みたいと思います。

★夢について語ってください
堀本 若い時から、世界の果てに行つてみたいという夢があ

壇本
自分は福島原発の傍に住んでいて、大震災に遭いましたが、家族は皆守られました。それだけでなく、難民として千葉に出てきて、政府からの保証が数年出るお陰で、少しでも恩返しに奉仕活動に取り組みたいと思います。

前、信号で止まつていた自分の車に、後ろから激しく追突され車は大破、病院に十九日間入院していました。医者に、あれだけの事故に遭つても、あなたはどこも悪くないから早く退院しなさいと言われ、元気に戻りました。生かされた命ですから、せめて世の為に生きたいと思いました。そうしたら、お陰で少しありがとうございました。保険金が降りました。奉仕に出て、かけても、何とか妻も娘も食いつないで、ナソウです。

A photograph showing three young pigs on a concrete floor. In the foreground, a small, reddish-brown piglet stands on its hind legs, leaning its front paws against the snout of a larger, white pig with black spots. In the background, another piglet with a mix of reddish-brown and white fur lies on the floor, looking towards the camera. The setting appears to be a farm or a shelter.



♣ Mother; 母と子と Baby ♣

レダ基地では、牛、馬、豚、羊、犬などの家畜や、鳥、獣、昆虫他、野生生物のペアリング・出産・育児の様をつぶさに見ることができます。愛と生命、その継承の営みを、生きた教材から五感で学べる学校とも言えましょう。

水落 二年ほど漁師をした経験があります。魚釣りは大好きですし、魚を扱うことにも慣れています。船も操縦できます。趣味は釣りですので、レダではいろいろな魚を釣つてみたいです

南北米福地開発協会 新年会
会員との楽しい交流の場

二〇一四年一月十九日（日）
大山街道ふるさと館



レダの活動報告、講話、青年の合唱、独唱、ブラジルの家族による南米の歌、そして手品など、楽しく、有意義な親睦の時間を持ちました。

南北米福地開発協会事務局

〒213-0001

神奈川県川崎市高津区

溝口3-11-15

岩崎ビル4F

電話 044-829-2821

FAX 044-829-2820

会費納入 郵便口座

10180-77680471

Eメール : office@asd-nsa.jp

ホームページ : <http://www.asd-nsa.jp>

地球家族として、自然を守りましょう

南北米福地開発協会会員募集中

南米、パラグアイ・パンタナール地域へのエコツアー、ならびに植林活動を通じて生態系の維持と強化を促進し、その地域をモデルとし、世界に環境保護の大切さを訴えています。会費は月500円です。

毎月、パンタナール通信をお送りいたします。また、各種のセミナー、エコツアー等へのご案内をいたします。